

## 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち

伝えたい言葉を残して

「組み木」が解散

高校生ボランティアサークル 組み木 21代会長

のりつき  
法月ゆりえ  
由里恵さん (19)

子どもたちを対象に「クリスマスのつどい」の開催や市街地・根室港の清掃などの活動のほか、チャリティーバザーを行い、収益金を社会福祉協議会ボランティアセンターに寄付するなど、組み木の活動は市民の皆さんからも注目を集めていました。

「組み木」は、昭和60年11月にボランティア活動をしたという根室高校と根室西高校の生徒で結成されました。両校の枠を超えて精神的にさまざまな活動が展開されてきましたが、会員の減少からこの3月で解散となり、前会長の法月由里恵さんが当時の活動について振り返ってくれました。

「私は、高校3年の時に21人目の会長を引き受けました。その後一年以上にわたり、最後の会長を務めてくれた小島会長にはご苦労様の一言です。このサークル活動で、たくさん子どもさんやお年寄りの方々と出会うことができたことは、これからの人生に大きな経験となっていくと思います。」社会に出て一年を迎えた法月さんにも、「組み木」での経験は大きな励みとなっているようです。

「一つの目的に向かって何かを創り上げていくことは、簡単なものではなかったですね。でも、高校生同士ということもあって、同じ感覚を持って活動できたことは楽しい思い出です。そして、これまでの活動を続けて来られたのは21年間にもわたる国際ソロプチミスト根室さんからの寄付があったからこそだと感謝しています。そんな応援をいただきながら、活動が終わることには残念ですが、両校にそれぞれ結成されているボランティアグループが一層充実していくことに期待しています。」明るい笑顔の中に、解散が惜しいという思いと、今まで支えてくれた皆さんへの感謝の気持ち伝ってきます。

最後に、法月さんが「組み木」に伝える言葉を教えてくださいました。「俺たちの青春はボランティアで始まり ボランティアで終わる」